

C.COM

広島 の 生協

平和とより良き生活のために

SEP.2013
VOL.42

広島県生活協同組合連合会
発行 2013年9月15日



- 特集：平和『8.6』68度目の祈り… 1-6
- ・2013ピースアクションinヒロシマ
虹のひろば・講演・被爆者証言・平和行進・碑めぐり
 - ・2015年NPT再検討会議に向けて… 4
高田公喜専務理事レポート
 - ・平和市長会議との連携 …… 5
 - ★アメリカ新型核実験に嚴重抗議!! …… 6

平和『8.6』68度目の祈り…

事務局・会員生協だより

- ・トップセミナー（第1回、第2回）… 6
- ・広島共立病院・新病院建設工事中! …… 7
常務理事 花田俊哉
- ・生協ひろしま 地域連携協定調印式・「寄ってこ～家」… 8
- ・消費者団体連絡協議会と広島県知事懇談 …… 9
- ・理事会報告… 9
- ・「TPPから食とくらし・いのちを守る
ネットワークひろしま」シンポジウム… 10
- ・お知らせ
第42回広島県生協大会・新会員紹介
- 『生協と平和』… 11
- 国本 善平 広島市佐伯区長



特集

2013 ピースアクション
in ヒロシマ

平和『8.6』68回目の祈り



にスイス・ジュネーブであった核不拡散条約（NPT）再検討会議の準備委員会で、核兵器の非人道性を訴える声明に賛同しなかった。

北朝鮮の核問題、イランの核開発、ヨルダンの内戦、エジプトの政治紛争と、世界の平和はまだまだ兆しすら見えて来ない。8月6日を機に、あらためて世界平和を問うてみたい…。



核は『絶対悪』の見出しが

(8月7日:朝日新聞朝刊)

未だ、世界各地で人と人との争い、国と国との紛争が止まない中で、人類初の原爆投下から68年を迎えた8月6日、広島市中区の平和記念公園で平和記念式典が開かれた。松井一実市長は平和宣言のなかで、核兵器は「非人道兵器の極みであり『絶対悪』とし、核廃絶を訴えた。しかし、世界で初めて核の被害国となった日本政府は、4月

平和『8.6』68回目の祈り

子どもたちの
子どもたちによる
子どもたちのための
碑めぐりガイド

子どもによる



大人の説明を真剣に聞く子どもガイド

戦争の悲惨さを
知った子どもたちは、
“平和”を次の世代に伝えて
くれる…

子どものための「碑めぐり」



碑めぐりを終えて、交流の時間です



元安川を挟んで原爆ドームの説明をする子どもガイド



被爆ガイドの説明を聞く子どもガイドたち

2013ピースアクションin
ヒロシマのメイン企画ヒロシマ
『虹のひろば』が、8月5日午後、
広島県立総合体育館「グリーン
アリーナ」で開かれました。「虹
のステージ」、「みんなのひろ
ば」の2部で構成された虹のひ
ろばは、広島ジュニアマリンバ
アンサンブルのオープニング演
奏によって始まりました。続け
て、浅田克己日本生協連会長挨拶、前の広島平和文化センター

ピースアクション in ヒロシマ ヒロシマ 虹のひろば

8月4日、広島県生協連は、「子どもによる子どものための碑めぐり」を開催しました。この企画は、子どもガイド養成講座を受講した広島の子どもたちが、全国からやってきた子どもたちに平和公園内の「碑」を案内するものです。被爆アオギリ、原爆の子の像、原爆ドーム、原爆供養塔などをめぐって約1時間、子どもたちは無事に役目を果たしました。



虹のひろばは、広島ジュニアマリンバアンサンブルの躍動感あふれる演奏で始まりました



日本生活協同組合連合会浅田克己会長の挨拶



広島はもとより全国から集まった人たち

理事長ステイブ・リーパーさんの講演に、全国から集まった1100人の参加者が耳を傾けました。会場では、安田女子大学の書道部によるパフォーマンスが人気を博し、大人も子どもも「書」を楽しみました。また、会場の展示に見入る人、会場に設けられた全国生協のブースでは全国からの参加者のふれあいの光景が数多く見られました。



ヒロシマ「虹のひろば」会場入口風景

平和『8.6』68 回目の祈り



人間の“クセ”が平和を阻む…

全国から集まった大勢の参加者で埋まった「ヒロシマ虹のひろば」。会場に、スティーブン・リーパーさんの強い声が響きます。前の広島平和文化センター理事長であったリーパーさんは、「今の社会は、少数が喜び、大多数の人が苦しんでいる世の中」だと言う。そして、今の社会状況（競争社会）が必然的にこうした格差をもたらしているとも。そして、今日の平和を阻むものは2つ、一つは核兵器、もう一つは、私たちの心の中にある「ボスになりたい」、「お金を集めたい」、「地位の高い人になりたい」という、人間の“クセ”（性）がもたらすものだとし、力を入れて聴衆に訴えます。結論として、この“競争”を捨てることで世界に平和をもたらすのだと強調して講演を終わりました。



安田女子大学書道部のパフォーマンス。大好評でした

さまざまな展示や参加型企画などが点在し、参加者が興味に応じて自由に見たり、参加したりできる虹のひろば。「会場での参加者同士のやり取りを通じて、各地の取り組み、つながる企画をみんなで作り上げる」の目的通り、ひろばでは、全国から集まった人々の交流風景が見られました。「平和」への想いを新たにしました。



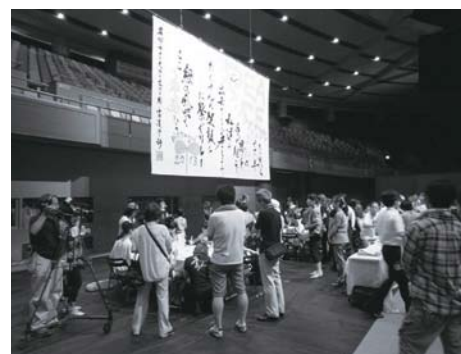
広島と同じ被爆地長崎「ララコープ」のブース



クイズを楽しむ参加者たち



書道部のお姉さんたちから指導を受ける子どもたち



出来上がった作品を掲げた書道パフォーマンス会場



東日本大震災の被災地から「みやぎ生協」ブース



山の国長野県から「コープながの」ブース



フィナーレは大勢の合唱で締めくくりました

平和『8.6』68回目の祈り

核兵器廃絶と生協の平和運動を 加速させるために――

あるインターネットの書き込みのやり取りが印象的でした。

「核兵器の祈りをしてても平和にならない」「アメリカの傘にいるから平和なんだ」「日本に隣国が攻めて来たらどうするん



広島県生活協同組合連合会

専務理事 高田 公喜

だ」「非現実的な空想を描いてもしかたない」、そうした意見に対して「暴力や威圧を肯定すること、武器で平和を拮抗させることは平和ではありません」「核兵器廃絶を想う心は、戦争や核兵器を告発することであり、非人道性を容認できないというメッセージを絶やすことは、暴力を人類が容認することになります」。

端的なやり取りですが、今の

世論の深部を表現しているように思えます。

「核の時代の幕開け」

7月16日は、人類史上初の核実験がなされた日です。

この核実験は、トリニティ実験 (the Trinity test) と呼ばれ、1945年7月16日にアメリカ・ニューメキシコ州ソコロの南東48 kmの地点で行なわれました。トリニティ実験は爆縮型プルトニウム原子爆弾の爆発実験で、同型の爆弾が後に日本の長崎市に投下されました。

この核実験こそが、「核の時代」の幕開けとなったのです。日本生協連の創立総会では、第2次世界大戦の苦い教訓を生かした平和宣言とともに協同の力で支え合える社会、つまり良質の共生社会づくりを目指すという趣旨の宣言があります。国際協同組合デイには、「平和の使徒」たらんことを世界の同士とともに誓い合ってきた歴史があります。福島原発事故を機に、日本中、そして世界中の人たちが、いま必死に声をあげています。放射性物質は大気に

のつて世界中を汚染します。そして、その汚染で真先に苦しむのは子どもたちです。子どもたちが苦しみながら死んでいく、そんなことがけつしてあつていいはずはありません。私たち大人は、力を合わせて、子どもたちの未来を守らなくてはなりません。新たな核軍縮計画は、「核なき世界」という願いではなく、財政や国情を優先させた流れが強く、そのことの正当性をアピールする狙いが見え隠れします。

しかし、いかなる理由があろうとも核兵器を削減することは、NPT条約第6条「核締約国は、核軍備競争の早期停止および核軍縮の縮小に関する効果的な措置につき、ならびに厳格かつ効果的な国際管理下における全面的かつ完全な軍備縮小に関する条約についてこれを誠実に交渉を行うことを約束する。」に違反しつづけています。

今年5月下旬までジュネーブで開かれたNPT再検討会議の第2回準備委員会では、核軍縮の進展はなかった。それだけではなく、日本政府は、核兵器の非人道的影響に関する協同声明に署名しませんでした。今日の日本の隣国との関係やアメリカとの関係を考えると賛同できない

い。というのが理由です。協同声明を提出した国々の中には、NATO（北大西洋条約機構）に加盟している北欧諸国も賛同しています。

「世論形成の先頭に」

2009年8・6の中国新聞の社説には、「核廃絶 被ばく国が先頭に」というテーマでの論説があります。その中で、日本は、核の傘から脱却する道筋をどう作るかが課題である。としています。「ヒバクシャ」は世界共通の用語です。

その被爆者の平均年齢は、78歳です。被爆者は、私たち世代のラストジェネレーション。被爆者の想いは、あの原爆の惨事を知る人々の無念さを乗り越えて、二度とあの惨劇を繰り返したくないという心の叫びです。被爆者の想いは頭ではなく、心に響く最大のメッセージです。

2015年に開催されるNPT再検討会議に参加してもらえぬ被爆者は80歳を超える高齢となります。健康者でも厳しい日本からアメリカまでの行程を勇氣を出して行ってもいいです。そんな思いを私たち生協は、どう行動し、どう考えるのかを問われています。

平和『8.6』68 回目の祈り



「3つの提言」

現実を目を向けて考えないといけないのは、「超大国の世論をどう動かし、そのリーダーの皆さんに核兵器廃絶と核兵器禁止条約の締結をさせるか。」です。つまり、国レベルの外交力ではなく、社会的力量を市民が持ち市民外交力の力で国を動かす言動力が必要です。

そのための提言が3つあります。

①日本生協連が軸となつて草の根の連帯ネットワークを内外に影響力を持てるように検討を進め、併せて平和教育を推進する。世界には、多くの平和を願う NGO がある。そうした情報と取り組みを集積して生協陣営への行動提起を積極的にする。

②広島市が提唱している平和首長会議への自治体参加と2020ビジョンの推進

平和首長会議には、9月1日現在世界157カ国5736都市、日本では、1366の自治体に参加している。国内は、8割弱です。その推進を是非広げる。

③生協平和基金の創設

生協がイニシアチブを発揮して内外の NGO 組織との連携強化を推進する立役者となる。平

和活動を推進している団体などを表彰したり、支援する活動を展開する。

「2013年度ひろしま 平和行動から」

「ヒロシマから平和な未来を築こう」をスローガンに2013年ピースアクションインヒロシマを8月4日～6日の日程で開催しました。

今年は、前広島市平和文化センター理事長のステイブンリーパー氏が講演され、分科会では、被爆者の皆さんからの証言もありました。さらに広島市内にある被爆遺跡・碑めぐりなど親子で参加いただける企画も実施。また、8・6の夜は恒例となっているピースナイターを企画しました。ちなみに今年この日のセ・リーグの試合はすべてがピースナイターと位置づけを取り組みました。

2015年NPT再検討会議への派遣、ピースアクション広島、長崎への参加はもとより、私たちは組合員・市民に対して、具体的に見える形で訴える必要があります。

生協は、頭で事業を考え心で平和を考える組織である証明を全国の皆さんと進めたいと思います。

第8回平和市長会議総会

8月6日、68回目を迎えた広島市の原爆記念日。8月6日を前にしてさまざまな催しが平和公園を中心に開かれました。前の広島市長秋葉忠利氏の発案によって生まれた『平和市長会議』もその一環で、8月3日から6日まで、広島市平和公園内にある広島国際会議場において、第8回平和市長会議総会が開かれました。

都市に核廃絶・平和運動の担い手としての役割を委ねた『平和市長会議』、松井広島市長を

議長に、日本国内だけでなく各国市長から、様々な意見や訴えが発表され、活発な討議がなされました。

総会2日目、市民団体・被爆者団体との対話集会も開かれました。広島市立大学広島平和研究所水本和実副所長のコーディネートで、県被団協、高校生3名が出席、広島県生協連合会からは岡村会長理事が出席し、市民の立場からの平和運動の実態と生協の実績を報告しました。



第8回平和市長会議会場にて記念撮影する各国市長。右は告知用チラシ

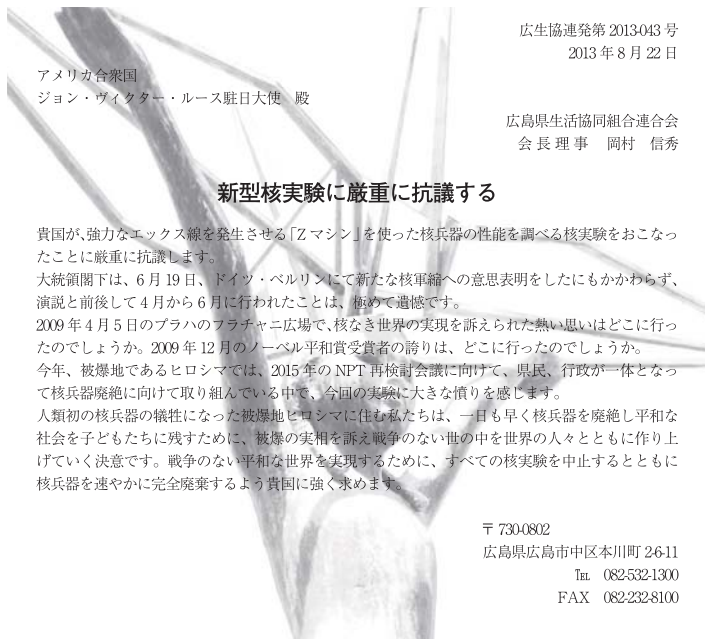


「市民団体と被爆者の対話集会」会場風景、左は広島県生協連岡村会長理事 ※「平和市長会議」は、第8回総会で「平和首長会議」に変更することを決定しました。

平和『8.6』68 回目の祈り

【アメリカ新型核実験に厳重に抗議 オバマ大統領に抗議文送付】

広島県生協連は、アメリカが行った新型核実験に対し、東京のアメリカ大使館を通じ、オバマ大統領、ルース駐日大使に抗議文を送りました。



広島生協連発第 2013043 号
2013 年 8 月 22 日

アメリカ合衆国
ジョン・ウィクター・ルース駐日大使 殿

広島県生活協同組合連合会
会長 理事 岡村 信秀

新型核実験に厳重に抗議する

貴国が、強力なエックス線を発生させる「Z マシン」を使った核兵器の性能を調べる核実験をおこなったことに厳重に抗議します。

大統領閣下は、6 月 19 日、ドイツ・ベルリンにて新たな核軍縮への意思表示をしたにもかかわらず、演説と前後して 4 月から 6 月に行われたことは、極めて遺憾です。

2009 年 4 月 5 日のブラハのフラチャニ広場で、核なき世界の実現を訴えられた熱い思いはどこに行ったのでしょうか。2009 年 12 月のノーベル平和賞受賞者の誇りは、どこに行ったのでしょうか。

今年、被爆地であるヒロシマでは、2015 年の NPT 再検討会議に向けて、県民、行政が一体となって核兵器廃絶に向けて取り組んでいる中で、今回の実験に大きな憤りを感じます。

人類初の核兵器の犠牲になった被爆地ヒロシマに住む私たちは、一日も早く核兵器を廃絶し平和な社会を子どもたちに残すために、被爆の実相を訴え戦争のない世の中を世界の人々とともに作り上げていく決意です。戦争のない平和な世界を実現するために、すべての核実験を中止するとともに核兵器を速やかに完全廃棄するよう貴国に強く求めます。

〒 730-0802
広島県広島市中区本川町 2-6-11
TEL 082-532-1300
FAX 082-232-8100



広島生協連発第 2013043 号
2013 年 8 月 22 日

アメリカ合衆国大統領
バラク・フセイン・オバマ・ジュニア 閣下

広島県生活協同組合連合会
会長 理事 岡村 信秀

新型核実験に厳重に抗議する

貴国が、強力なエックス線を発生させる「Z マシン」を使った核兵器の性能を調べる核実験をおこなったことに厳重に抗議します。

大統領閣下は、6 月 19 日、ドイツ・ベルリンにて新たな核軍縮への意思表示をしたにもかかわらず、演説と前後して 4 月から 6 月に行われたことは、極めて遺憾です。

2009 年 4 月 5 日のブラハのフラチャニ広場で、核なき世界の実現を訴えられた熱い思いはどこに行ったのでしょうか。2009 年 12 月のノーベル平和賞受賞者の誇りは、どこに行ったのでしょうか。

今年、被爆地であるヒロシマでは、2015 年の NPT 再検討会議に向けて、県民、行政が一体となって核兵器廃絶に向けて取り組んでいる中で、今回の実験に大きな憤りを感じます。

人類初の核兵器の犠牲になった被爆地ヒロシマに住む私たちは、一日も早く核兵器を廃絶し平和な社会を子どもたちに残すために、被爆の実相を訴え戦争のない世の中を世界の人々とともに作り上げていく決意です。今一度、ブラハ演説の通り核兵器廃絶運動の先頭に立ってください。戦争のない平和な世界を実現するために、すべての核実験を中止するとともに核兵器を速やかに完全廃棄するよう大統領閣下に強く求めます。

〒 730-0802
広島県広島市中区本川町 2-6-11
TEL 082-532-1300
FAX 082-232-8100

2013 年度広島県生協連トップセミナー

広島県生協連では、2013 年度重点課題の 1 つに「会員生協の経営と活動が活性化するためのパートナーシップを強め、県内連帯の輪の中で、リーダーシップを発揮できるよう役割を強める」ことを掲げています。生協経営の安定を支える人材育成と県内連帯の土台づくりのため、対象に合わせた研修会を開催します。

10 年」に向けた提言をいただいた。参加者からは、「上杉鷹山の教えがベースとなった、大切にすべきことは非常に感銘した。」店舗と共同購入の相乗効果について、考え方の整理でき、参考になった。」2 つの大震災を通じて生協の存在意義を再認識できた」等の感想が寄せられた。

■第 1 回トップセミナー

◇日時 2013 年 6 月 26 日
(水) 10 時 30 分～11 時 50 分
◇会場 ホテルチュウリツヒ東方 2001

◇講演 芳賀唯史 日本生活協同組合連合会 参与 (前専務理事)
演題「国際協同組合年を超えて」
◇参加者 52 名
◇内容

昨年の国際協同組合年を超えた今、生協として何に取り組むべきか、ご自身の 40 年間の生協とのかかわり、そのうち 30 年の専務や理事長としての経験をもとに、自身自身が大切にしてきたこと、2 つの大震災で果たした生協の役割、存在価値をお話いただき、生協のトップとして、リーダーとしての心構えをお話いただいた。

また、日本生協連前専務理事として、「日本の生協の 2020 ビジョン」、「協同組合のこれからの



第 2 回トップセミナーの様子

■第 2 回トップセミナー

◇日時 2013 年 7 月 10 日
(水) 10 時 30 分～12 時 15 分
◇会場 広島県生協連 (第 7 ウエノヤビル) 3 階コンファレンスルーム

◇講演 広島県健康福祉局 地域ケア部長 豊後晴一氏
テーマ「安心できる地域包括ケア・広島県の健康福祉の将来像」

◇参加者 33 名

◇内容

広島県から健康福祉局の豊後地域ケア部長、地域福祉課課長、介護保険課課長、参事 1 名、主幹 1 名、環境県民局から消費生活課課長の参加をいただき、豊後ケア部長より、①広島県未来チャレンジビジョン、②広島県の健康福祉を取り巻く現況、③医師不足・医療費の伸びに対応する取組、④高齢者の増加、介護給付費等の伸びに対応する取組、第 5 期高齢者プランの策定についてご講演をいただいた。

参加者の中には、ケアマネジャーなど現場に近い職員もいて、活発に質問が出された。一つ一つの質問に対して、豊後ケア部長、各課長から丁寧な回答をいただいた。

また、友誼団体からも参加があり、J A 広島中央会小田常務理事から、県北中山間地域の実情をご報告いただき、参考になった。

地域包括ケアに関して、広島県の現状、取組、課題、めざす方向性を説明いただき、今後の進め方、広島県との連携方法を考える機会となり、たいへん有意義な研修となった。広島県健康福祉局と生協連とのこれまでの関係づくりが、今回のセミナー開催につながった。今後も大切にしていきたい。

広島医療生活協同組合



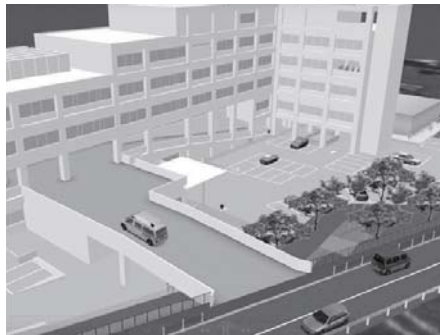
工事現場航空写真（7月末）



東側上空より（完成イメージ写真）



工事現場写真（8月20日）



安川土手市道進入路方面より（完成イメージ写真）

『広島共立病院・新病院建設工事中！』

2014年7月完成予定

広島共立病院は本館が1977年の開設から36年たちます。療養環境の改善、耐震化整備などのために新築移転をめぐって新病院建設を行ってまいりました。場所は現病院の向かい側にあった駐車場です。新病院は建

築面積約4千200㎡、延床面積は約1万4千300㎡で現病院の約1.4倍の広さとなります。6階建てですが、形状は諸条件から階段状になります。ベッド数は、補助金を受ける条件により現在の199床から186床になります。また、新病院の前を流れる安川の土手市道から車や人が直接入れる進入路を設けます。

難工事です

工事は今年3月に始まってから半年が過ぎ、来年2014年の7月末竣工予定まであと11カ月となっています。新病院はとも横長（約100m）のため、いくつかの工区に分け、これまでは地盤改良などの基礎工事や1階・2階部分の躯体工事、および安川土手市道からの進入路工事を行っています。これからは新病院本体と進入路がつながり、また本体の躯体工事が上層階へと伸びていきます。工事は概ね順調に進んでいます。建設敷地の余裕のなさ、周辺道路の狭さによる工事車輛通行の困難さがあります。また、この間は土手を工事する困難さ、建

設地のすぐそばを流れる安川や、八木用水による影響と思われる水の流入などの困難もありました。さらには、建設地の上空には高圧線が通っており、そこをうまく避けないといけない困難が待ち受けています。施工は清水建設で天下の大ゼネコンですが、それでも「なかなか難工事です」とのこと。ともかく事故のないことを願っています。

医療構想・事業構想と課題

新病院では、救急施設の充実による急性期医療の強化、回復期リハビリ医療の継続、緩和ケア病棟の新設、健診センターの充実による保健予防・健康増進活動の旺盛な展開を行います。また、新病院建設にともない本館は解体して駐車場にしますが、残る既存施設（東館・南館）について、東館は介護関係を中心に、また南館は組合員センターとしての活用を検討しています。地域での保健・医療・福祉の大きな拠点として「地域まるごと健康づくり」の役割を担っていきます。しかし、これらの事業には数十億円という大きな支出が必要です。経営での剰余を生

み出す力量のアップ、建設運動の輪を広げて出資金増資を純増で毎年1億円以上継続して集める取り組みが課題です。

組合員とともに 地域に根ざした新病院を

新病院建設にあたり、地域組合員と職員とで「新病院実現建設委員会」を立ち上げ、新病院に対する地域の要求や要望の掘り起し、運動の交流、新病院の構想や設計に関する議論などを行ってきています。月1回を基本にすでに40回以上開催しています。現在はメモリアルとしてのタイル壁画、組合員センターの活用方法検討、緩和ケア病棟のボランティア養成などに取り組んでいます。今後も組合員参加を広げていくことが大切です。また、月1回の地域訪問を行っています。様々な意見とともに「地域のために頑張る」という励ましをいただいています。新病院がいつそう地域に根ざし、地域にひらかれ、まちづくりに貢献する施設として役割を果たすように頑張ります。

常務理事 花田 俊哉

生協ひろしま

連携で地域の活性化



協定書にサインをする様子



協定書を手にする藤本安佐北区長(左)と林理事長

7月31日(水)、広島市安佐北区役所で、生協ひろしまと広島市安佐北区が「地域連携協力に関する協定」の調印式を行いました。この協定は、地域社会・福祉の向上のために締結されたもので、包括的な連携のもと、相互の人材や情報などを活用し、地域の発展に取り組みます。調印式で藤本区長は「地域コミュニティの再生に貢献している生協と行政が協力することは、大きな可能性を秘めている。」

この協定を足場に成果をだしたい」と挨拶。今後は、高齢者・児童の見守り、災害時の支援など、安全で安心して暮らせるまちづくりを連携しながら進めます。

生協ひろしまでは、広島市佐伯区、広島市中区とも協定を締結しており、これで3区目となります。

行政と一緒にって地域福祉の活動を活発に取り組みます。

生協ひろしまでは、7月13日(土)、昔、コープ五日市北の休憩場所だった場所に無料の交流スペース「寄ってこ家コープ五日市北」を開設しました。福山市の引野、山手に続き3つめの開設で、誰もが気軽に立ち寄れる場として、週2回程度、午前10時から正午まで開放されます。開所式では、国本佐伯区長が「高齢・子育て世代の孤立化が進む中、このような場所が佐伯区内にできるのはたいへん心強い。これからも住みやすい地域づくりに協力していただきたい」と挨拶されました。当日はフラダンスや、ハーモニカの演奏などで新しい居場所の誕生を盛り上げました。



開所式でのテープカットの様子



様々な年代の方が集まりました

「寄っていきんさい。」

理事会報告・消費者団体連絡協議会

消費者団体連絡協議会、
知事懇談会開催

広島県消費者団体連絡協議会では、昨年8月から9月にかけて意識調査(『消費者問題』、『税・社会保障について』)を県内の消費者約3000を対象に実施しました。その集約結果の報告を兼ねて湯崎英彦広島県知事と懇談をしました。

清田清美消費者団体連絡協議会会長から挨拶とお礼の言葉を述べた後、高田公喜広島県生協連専務理事が『税・社会保障』に関する調査結果について報告(『消費者問題』)については12月4日に報告済)しました。

はありましたが、終始和やかな雰囲気での懇談ができました。

■日時 7月24日(木)
13時40分～14時

■場所 知事室(広島県庁)

【出席者】

広島県知事 湯崎 英彦

広島県消費者団体連絡協議会会長

(呉市消費者協議会会長) 清田 清美

(公社)広島消費者協会会長 中原 律子

広島県地域女性団体連絡協議会会長 仲島 武子

廿日市市消費者協会会長 是佐 恵美子

NPO法人消費者ネット広島理事長 吉富 啓一郎

広島県生活協同組合連合会専務理事 高田 公喜

広島県消費者団体連絡協議会専務局長 福島 守

広島県生協連2013年度第2回理事会を開催

■日時 2013年7月3日

(水) 13時～15時

■場所 広島県生協連
3階会議室

■出席 19名中11名出席

(理事17名中11名出席、監事2名中0名出席)

(出席理事) 岡村、高田、馬場、岡野、横山、上田、斉藤、高橋、武田、乃美、金築

□議決事項

□協議事項

各事項について資料に基づき提案説明を行い、全員異議なく承認決定した。

(第1号議案) 三共生活協同組合の広島県生協連への加入について

(第2号議案) 外部団体公職(審議会)候補の推薦および県連専門員(コープ・アドバイザー)の選任について

(第3号議案) 第42回広島県生協大会の開催要領について

(第4号議案) 2013平和関連行事について

(第5号議案) 地域福祉研究会(仮称)及び環境エネルギー研究会(仮称)の発足と研究会要項について

各事項について資料に基づき提案説明を行い、協議の結果、全事項について確認した。

(第3号議案) 第42回広島県生協大会の開催要領について

(第4号議案) 2013平和関連行事について

(第5号議案) 地域福祉研究会(仮称)及び環境エネルギー研究会(仮称)の発足と研究会要項について

□報告事項

各事項について資料にもとづき報告を行い、全事項について確認した。

(第6号議案) 一般報告

1. 2013年度通常総会報告について、報告書(議事録)の通り確認した。

2. 2013年度県知事表彰に

関して報告があった。

TPP ネットワーク・お知らせ



第42回広島県生協大会のご案内

広島県生協大会では、毎年1回、広島県生協連に所属する会員生協の組合員、役職員が広く集い、時宜に応じたテーマで学習交流をしています。

今年は、記念講演として、「くらしと社会保障」（仮題）をテーマに金子勝慶應義塾大学教授を講師にお招きし開催します。また、今年は5年に1度の広島県知事表彰の年となります。

会員生協組合員、役職員及び、友誼団体の皆さんの参加をお待ちしております。

■日時 2013年10月24日（木）
13時～15時45分

■場所 サテライトキャンパスひろしま 大講義室
（広島県民文化センター5階）

■内容

- (1) 式典
- (2) 広島県知事表彰
- (3) 会員生協実践報告
- (4) 記念講演

テーマ

「くらしと社会保障」
（仮題）

講師 金子 勝氏
（慶応義塾大学 教授）



「TPPについて考えるシンポジウム」を開催しました

広島県生協連は、TPPへの日本政府の拙速な交渉参加表明には賛同できないという声明を出し、JAをはじめとした農林水産業関連団体、広島県医師会などの医療関連団体とともに、「TPPから食とくらし・いのちを守るネットワークひろしま」を立ち上げ、広島県内53団体がTPP阻止に向けて、県民の理解をふかめるための学習会を開催したり、情報開示を求めて国・県等の関係機関へ要請行動を行っています。

◆講演 東京大学大学院教授
鈴木宣弘氏 「TPP交渉参

加賀茂・広島県商工団体連合会
会長、住元一夫・吉田総合病院
院長、竹内佳代・広島県生協連
コープアドバイザー、細野賢治・
広島大学大学院准教授、山本一
守・広島県農協青壮年連盟委員
長

「TPP参加は、本当に大丈夫？」

◆リレートーク

◆会場 広島県民文化セン
ター 多目的ホール

◆日時 2013年7月5日
（金）13時～16時30分

◆参加者 約350名
◆内容 加と国益の破壊について

リレートークは登壇者6名
が、それぞれの立場からTPP
が与える影響について報告。
続いて東京大学大学院の鈴木
宣弘教授が講演。

最後に「TPPは地域社会と
文化そのものを崩壊させる『平
成の不平等協定』にほかならな
い」とした共同宣言を確認しま
した。

また当ネットワークではこの
日、広島県、広島県議会にT
PPに関する情報の開示と国民
的な議論を政府に働きかけるよ

う、要請を行いました。今後、
広島県選出の国会議員の方々に
も要請行動を行う予定です。

「第3回TPPについて考える研修会」を開催

◆日時 2013年8月8日
（木）14時40分～17時

◆会場 JAビル10階
講堂C

◆講義

①「TPP参加は中小企業・小
規模経営事業者と地域経済にな
にをもちますか」

②「ワシントンD・Cで暮らし
た体験とTPP」
◆参加者 80名

【新会員紹介】

◆生協名 三共生活協同組合

◆代表者 理事長 堀 正登

◆住所 広島県世羅郡世羅町大字寺町2114
Tel 0847-22-3040

◆概要

- ・事業内容 葬祭事業
- ・2012年度事業高 180,219千円
- ・組合員数 4,739人
- ・出資金 36,492千円

『家事や育児の手を休めて駆けつけてくださった皆さんの方が、核兵器の愚かさや生活の平和を守る本質を、よほど理解されている…。』



料理好きの私ですが、最近ちよつと嬉しい本に出会いました。大阪にある国立循環器病研究センターという病院が出した、塩分の少ないレシピを紹介した本（*）です。

病院の減塩食に辟易した体験を語る人は多いのですが、ここ国循（こくじゅん）では、病院食があまりに美味しくて「退院したくない」という入院患者もいるとか。メニューは、京都の料亭で修行した調理師長が主に考案。ポイントは、減塩ではなく軽塩（かるしお）なのだそう

私たちは、いつの間にか塩分の効いた濃い味付けの食べ物を旨いと感じ、それが当たり前になっていきます。塩に依存して調理された食べ物から単純に塩を減らせば、味が物足りなくなり、まずいと感じるのは当然です。

この本には、塩分に頼らない調理方法が分かりやすく書かれています。だし汁や酒で素材に旨みを含ませる、塩の代わりに酢でこく味をつける、などなど。塩はあくまで軽く、それだけで十分以上に美味しいのです。けつして治療のためだけの食事ではないですね。むしろ、この国でひと昔前まで作られていた丁寧な日常食に通じるものです。過剰なものをリセットして原点に帰ってみれば、からだによいばかりでなく、正しくて豊かなものが見えてきますよ。そんな提案にも受け取れるのです。

ある種の観念や思い込みを再考する大切さは、食生活だけでなく、エネルギー生活にも通じるかもしれません。減塩と軽塩の対比でいえば、減エネよりは、軽エネ。引き算ではなく、無いところからの合理的な足し算。電力をふんだんに使う生活を見直し、昔の知恵に習いながら、ほんとうに必要なエネルギーを

中心に、軽く、少なく消費していく。「少エネ」とも呼べまじょうか。

「われわれは人間の長年のクセを考え直さないといけない」。広島平和文化センターの前理事長ステイブン・リーパーさんが、競争社会や戦争文化のもたらす害悪を警告する言葉です。彼の下で核兵器廃絶の仕事

を2年近く担当しました。全国の生協から呼ばれて講演する彼



の時々々の代役として、足元にも及ばないのですが、各地の生協の皆さんにお会いできました。

核廃絶の運動の盛り上げについて、私の話を熱心に聞いていただく中で、感じました。頭でっかちな理屈を語る私より、家事や育児の手を休めて駆けつけてくださった皆さんの方が、核兵器の愚かさや生活の平和を守る本質を、よほど深く理解されて

いると。家庭の台所から見渡せば、何を食べるか、環境のことも、エネルギーの問題、そして核兵器や平和の問題も、その場所から等距離にあつてつながっていること。そのように直感的にアプローチすることの強さを学びました。つくられた固定概念（長年のクセ）は、しなやかに変えていけるのです。

いまは地域の福祉やまちづくりなど、一線の現場にかかわっています。生協ひろしまさんには、区役所との地域連携協力協定、移動店舗第1号の始動など、たいへんお世話になっていきます。7月には、区内の店舗の一角に、「寄つてこゝ家」コープ五日市北」を開設していただきました。孤立しがちなお年寄りも、買い物に出かけた機会に気軽に語らうことができる空間です。高齢者問題やコミュニティの再生には、従来にはないトライアルが必要になっています。

先の見えにくい時代ですが、立場がかわっても、これまで生協の皆さんにいただいたご協力に感謝しながら、地の塩のように歩んでいけたらと思っています。

*「国循の美味しい！かるしおレシピ」
独立行政法人国立循環器病研究センター
著、セブン&アイ出版 1800円